

イトコのあの子

秦野市南学校

5年 津田 稟

「稟、イトコのあの子は発達障害があるんだよ。」とある日母に言われ、私はビツワリしました。

今年の5月に親せきのみんなでおきななで沖縄旅行に行きました。合計3泊4日の旅行ですごく楽しかったです。一方で年下のイトコのふるまいに疲れてしまいました。ごはんを食べ

る時に自分の妹とケニカを始めてしまったり、少しけがをしたただけです。と泣いたりさけび続けたりして、どうして周りにいる人のことをもつと考えないのだろう。自分勝手だなと思いい緒にいろいろのが恥おかしと思ったりしました。その下子を両親に話していた時に母にそう言われ、その子のことを理解するため発達障害について深く調べてみようかと母に提案され、今回一緒に調べてみました。

発達障害の中のADHDという障害は、注意力の障害とも言われ、強い気持ち^が沸き上が^ってきた時にまわりが見えなくな^ってしま^うこと、お^っと集中力をたもち続け^ることの大変さや注意力をバランスよく分けることの大変さがあ^ること^が分かりました。

そこからイトコの行動を考えると、ケンカしないとお母さんに毎回約束していたのに妹のしぐさに^{はんのり}反応して怒^ってしま^いケンカしてしま^ったこと、痛^いという気持ちに引^っ張^ら

れ周りのことが考えられなくなることも障害からおきてい^ろうのだなと理解あ^ること^ができました。そして母からは、いつもケンカしてしま^った後に後悔し自分を責めてい^ろうみたいだがよ^と聞いて、まあまあ大変だなという気持ち^が強^くなりました。

今回発達障害の中の1つの障害について調べました^が、身体障害や心の障害も同じように生活の大変さ^があ^ること^がわかりました。見えな^いだけに自分勝手と思われ^てしま^うこ

ともつらいことだとも思っています。私の身近な
ところにも発達障害の子がいます。その子に
それから困っている時に「こうした方がいい
よし」と話したところ、素直すじかに話をあがることか
出来ました。面倒めんどうだな、疲れるなあだけで
はなく、困っている子のサポートになること
を少しでもできればいいと思うし、その子の
頑張がんぢょうっているところを少しでも見つけていけ
ると私の中の気持ちも少し変化することに気
が付きました。イトコのあの子は遠方に住ん

でいるので時々しか会えませんが、その子が
自分を責めなくてもいいように、特別なこと
はできませんが、少しかつ出来ることをして
みんなが笑顔になっていける回数を増やして
いきたいです。今回自分の出来ることが増え
たように思っています。このようにみんなが障
害を持っている人たちに対して対応方法を知
っていけるとみんながぐらしゃやく生活の障
害も小さくなると思いました。